

オープンプラン1年生 算数
「のこりは いくつ ちがいは いくつ」
～ちがいの のこり～

「おはなを 8ほん もっています。
ともだちに 5ほん あげました。
のこりの おはなは なんぼんでしょう。」

これは、ひきざんの問題だと
1年生の子ども達は、すぐにわかります。

しかし・・・
「ねこが 8ひき います。
いぬは 5ひき います。
ちがいは なんびき でしょう。」

という問題になると、「・・・」と
戸惑う子ども達が出てきます。

そこで・・・
「キャップが 8こ あります。
ボトルは 5ほん あります。
ちがいは いくつでしょう。」
という問題を出しました。
そして、実際に物を使って考えました。



こちらから何も言わなくても、子ども達は自然
とキャップをボトルにはめていきました。



すると、ちがいが3つだと
すぐにわかりました。

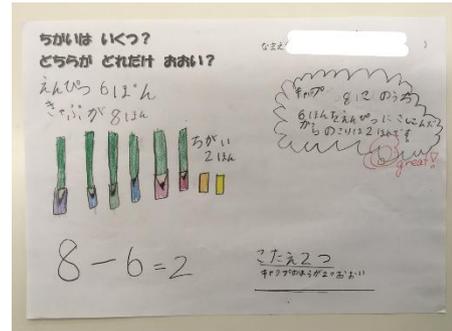
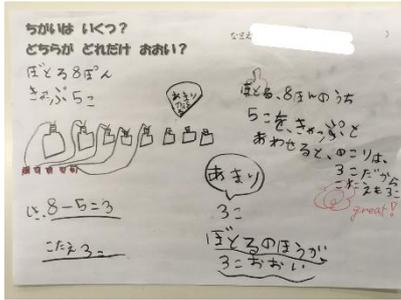
どんな式なのか、問うと、
「 $8 - 5 = 3$ 」と答えることができました。

子ども達は、他にも
鉛筆とキャップ
鉛筆と鉛筆削り
セロテープとテープ台
ハンガーとTシャツ
Tシャツとズボン
ストローとコップ
オレンジのブロックと緑のブロック
など

様々な物のセットを作ることで、
数のちがいを求めることができました。



活動が終わった後には、自分が体験したこと、
考えたことをそれぞれ記録しました。



なぜちがいを求める時には
ひきざんになるのか・・・
なぜ式が $8-5$ になるのか・・・

その説明の中には、「のこり」
という言葉がありました。

「キャップをボトルにはめていって、
のこったキャップがちがい。」

子ども達が、操作活動を通して
獲得した考え方です。

自分の手で物を操作し、
わからなかったことがわかったときの
子ども達の表情は輝いています。

子ども達には、
教師の言葉を聞いて理解するのではなく、
自分の力で理解していく、
主体的な姿を期待しています。

「できた！わかった！おもしろい！」

そんな瞬間がたくさん見られるような
授業をしていきたいです。

